

令和4年度

市民と語る会を 開催しました

市民と語る会の概要



本年度第2回目となる市民と語る会を、11月1日から18日まで22会場で開催し、計335名の方にご参加いただきました。開催にあたり、自治振興区や市内活動団体のご協力をいただき、議員は4班に分かれ、各班が5〜6会場を受け持ち、各会場に伺いました。

市民と語る会は、市議会基本条例にもとづき実施するもので、市民の皆さんの多様な意見・要望等を把握し議案等の審査に活用し、政策へ反映させることを目的としています。

地域	地区	開催日	会場等	意見交換テーマ	参加者数
庄原	庄原	11月15日(火)	庄原市ふれあいセンター	議会と地域とのつながり	22
	高	11月9日(水)	高自治振興センター	①地域生活交通 ②物価高騰対策	9
	本村	11月7日(月)	本村自治振興センター	共通テーマ	6
	峰田	11月8日(火)	峰田自治振興センター	共通テーマ	22
	敷信	11月2日(水)	敷信自治振興センター	生活交通(現在の市の施策)	15
	東	11月8日(火)	東自治振興センター	①鳥獣被害に対する抜本的対策 ②高齢化等による地域活動の限界、 地域コミュニティの再編成	22
	山内	11月8日(火)	山内自治振興センター	共通テーマ	14
	北	11月2日(水)	北自治振興センター	国・県道の道路施設の整備	14
西城	西城	11月10日(木)	西城自治振興センター	①美古登小学校と西城斎苑の跡地の 利活用 ②町内の廃屋の検討	24
	八銚	11月4日(金)	八銚自治振興センター	生活交通	8
東城	小奴可	11月9日(水)	小奴可自治振興センター	共通テーマ	15
	八幡	11月7日(月)	八幡自治振興センター	自治振興に携わる人材	10
	田森	11月18日(金)	田森自治振興センター	人口減少問題	11
	東城	11月11日(金)	東城自治振興センター	東城のまちづくり(都市計画・防 災・空き家・公園)	20
	帝釈	11月10日(木)	帝釈自治振興センター	地域生活交通	22
	久代	11月4日(金)	久代自治振興センター	①和牛飼育農家の高齢化対策 ②子育て支援策	14
	新坂	11月9日(水)	新坂自治振興センター	集落の維持再編	14
口和	全域	11月7日(月)	口和自治振興センター	口和地域の廃校舎の利活用と維持管理	12
高野	全域	11月11日(金)	上高自治振興センター	①地域防災システムの構築 ②地域社会の「福祉政策」	23
比和	全域	11月1日(火)	比和自治振興センター	共通テーマ	11
総領	全域	11月1日(火)	総領自治振興センター	持続可能な地域づくり	21
一般会場 21会場 合計					329
団体	庄原の人口問題をとことん考える民間会議(ひと部会)	11月17日(木)	庄原市役所	人口減少対策	6
総合計(22会場)					335

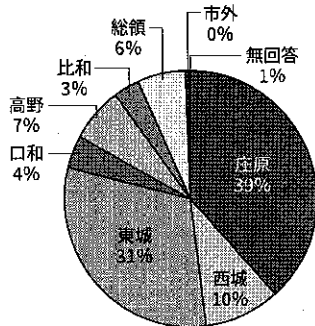
※共通テーマ ①庄原市立学校適正規模・適正配置基本計画 ②JR芸備線

会場で配付回収した市民と語る会アンケートから

回答総数316人 (回答率：96%)

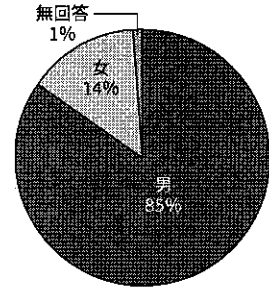
住まい

地域	回答数
庄原	122
西城	30
東城	98
口和	13
高野	22
比和	10
総領	20
市外	1
無回答	0
合計	316



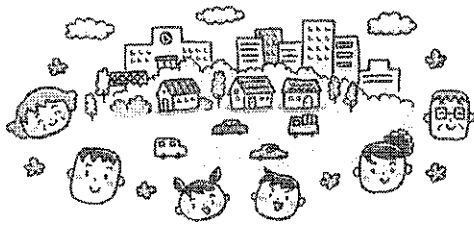
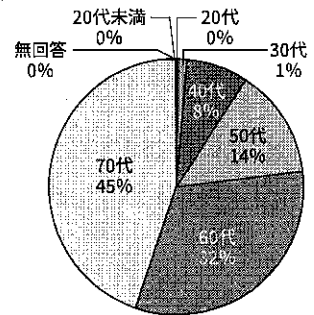
性別

性別	回答数
男	268
女	45
無回答	3
合計	316



年代

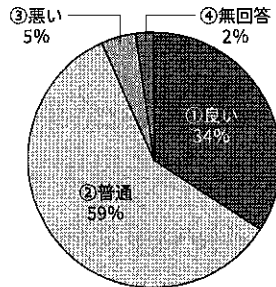
年代	回答数
20歳未満	0
20代	1
30代	4
40代	24
50代	44
60代	102
70歳以上	141
無回答	0
合計	316



市民と語る会の内容について

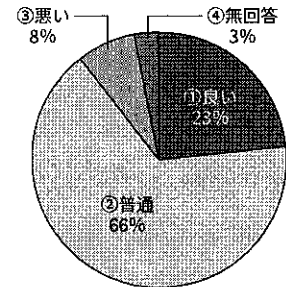
意見の出しやすさ

回答	回答数
①良い	108
②普通	187
③悪い	14
④無回答	7
合計	316



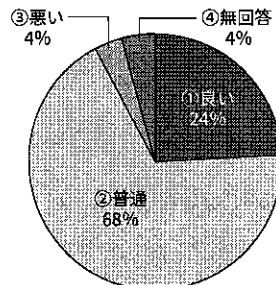
答弁のわかりやすさ

回答	回答数
①良い	74
②普通	209
③悪い	24
④無回答	9
合計	316



全体の感想

回答	回答数
①良い	77
②普通	215
③悪い	11
④無回答	13
合計	316



市民と語る会の開催、
ならびにアンケートにご協力いただき
ありがとうございました。

庄原市議会についてのご意見 抜粋

- 市民の声を市に届けていただきたい。
- 党派を越えて課題解決に取り組んでほしい。
- 市民の意見に対して、議会で内容の濃い質問を展開されるよう期待する。
- 人口減少対策、芸術継存統、高校の存続問題など、ぜひ地域に議員が足を運んでほしい。

市民と語る会の内容についてのご意見 抜粋

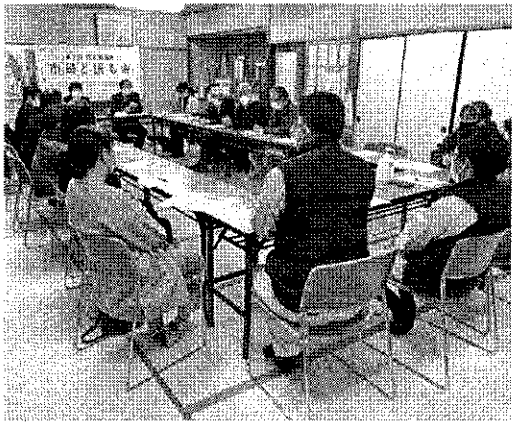
- 地域に沿ったテーマ設定と意見交換はよかった。
- 女性や子供の参加者がいれはもとおもしろくなると思う。
- 内容が一部の関係者だけのものになっている。課題も地元だけから出さずより全体的なところから考えてほしい。
- 地元選出市議の出席があり、地域の実情を知る人との実行性のある会議となり充実感を得た。
- 議題に対する市議としての提案や、草の根運動などの先頭に立って住民の意見を実現するような取り組みを頑張してほしい。

各会場で寄せられた意見から、一部を抜粋してお知らせします。

共通テーマ

庄原市立学校適正規模・適正配置基本計画について

問 統廃合については、合唱や団体スポーツができないなどのデメリットばかり言われるが、財政的なメリットもあるのでは。統廃合にともなう財政効果はあるのか。



答 財政的な効果ではなく、子供たちの教育環境のための統合と

聞いている。教育環境をどう整えたいのかというところから計画が上がっていると認識している。

問 第一次計画の学校のうち、統廃合になっていない学校はどのくらいなのか。しっかりした方針で綿密な計画や話し合いが必要である。

答 統合していない小学校との協議は進んでいないと聞いている。保護者の意見、地域の意見などさまざまあると思う。教育委員会も強制することはないと聞いており、議員も委員会や一般質問等で議論には参加している。

JR芸備線について

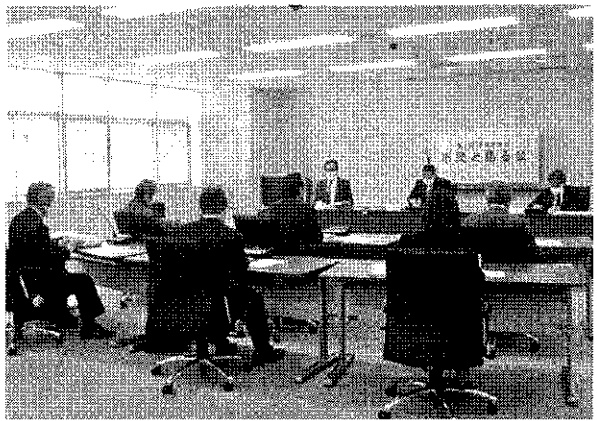
問 芸備線の存続について議論されているが、芸備線は乗り継ぎも悪いし、駅まで行くのに不便で使いにくいと思う。

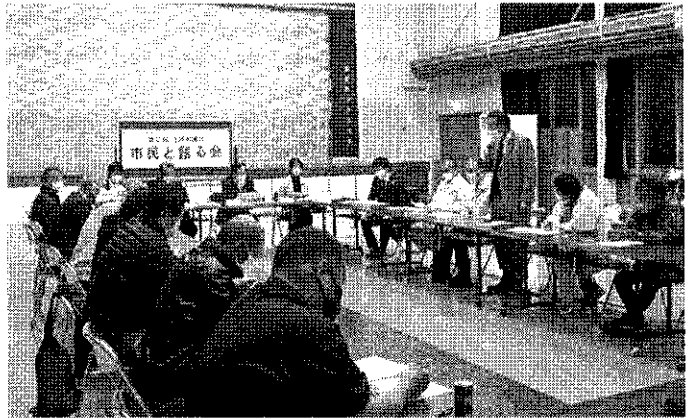
答 不便で利用しにくいのは確かであると思うが、高校生の通学にJRがないと困る。県立高校の存続問題にも関係してくるので、慎重に議論すべきと思う。



問 芸備線は残してほしいが、地域の人は必要ないから乗らない。今は一人一台の車社会であり、愛着はあるが、採算が取れないなら廃止して、バスの便利をよくするとか乗り合いタクシーなど、発想を変えないといけないのではないか。

答 以前は廃止もやむを得ないと思ったこともあるが、守れるのであれば歴史ある芸備線を守りたいと思う。最も利用しているのは高校生。それぞれの地域から通ってくるので、代替バスで解消できるかは難しい。





意見交換

■人口減少対策について

意見 移住について、庄原市でどのような暮らしができるかモデル化する必要があると思う。

答 移住定住の価値観はそれぞれある。定住促進のPRは行われているが、実際には、個々のニーズに沿った対応が必要である

と考える。

意見 人口減少対策は、地域に残ってもらう取り組みが必要と考える。外から移住して来られる人に対して、中から出ていく人が圧倒的に多い。

答 地元の子供たちに地域を知ってもらうことを市全体として取り組む必要がある。

答 地元の高校生への働きかけ、地域を好きになってもらう取り組みについては同感である。若い人に残ってもらうためには、仕事のマッチングを考えていかなければならない。

■生活交通について

意見 合併後、人口も変化している。現在の地域生活交通体系を一旦白紙に戻して、一歩一歩議論を積み重ねていくべきと考える。

答 どの地域に行ってもこの問題が出る。委員会としても、引き続き議論して解決策を促していく。

意見 Maas事業について、家の近くまで来ていただけるとは大きなメリットで大変喜ばれている。数か所の自治振興区で車を所有し、共有、協働するなど、新たな交通システムの構築ができないか。

答 それぞれの地域の利便性をよくしなければならぬ。そのためには、各地域の生活交通の現状を把握し、計画を進める必要があるが、地域からの意見をしっかりと上げてほしい。

■その他意見交換

意見 町内に空き家が増えており、なかには道路に面して危険な廃屋も存在する。個人の所有であり地域としての対応が難しい。どのようにすればよいか課題である。

答 市も空き家対策の計画や条例を制定して取り組んでいる。所有者に権限があり相続放棄も可能であることや除却したいと考えても経費が問題となるケースも見受けられる。災害を考えたときには代執行しかないと思う

が、工事代金を請求しても支払われないケースが想定される。専門家に相談するしかない。

意見 人口減少と高齢化により一部の行政区では葬祭もできない状況となっている。集落の維持が厳しく、行政区の再編を考へねばならない。行政サイドの方針と意見一致が必要だが今後の方向性をどう考えるか。

答 他の自治振興区でも役員の手がいない状況も見受けられる。自治振興区の存続について議会でも取り上げていかねばならないと考える。行政サイドの方向性も必要であるが、自主・自立の立場から、まずは住民の思いが重要であると思う。

多くのご意見をいただきありがとうございます。紙面の都合上、全てを掲載することはできませんが、ご意見については今後の議会運営や個々の議員活動に反映させてまいります。今後も市民の皆さんのご意見を直接お伺いし、意見交換ができる身近な市民と語る会となるよう努めてまいります。